

変圧器用ダイヤル温度計の取り外し手順

変圧器用ダイヤル温度計の 夜光塗料塗布部のご説明 及び 変圧器からダイヤル温度計を取り外す手順について、以下にご説明致します。

1. 変圧器用ダイヤル温度計 夜光塗料塗布部のご説明

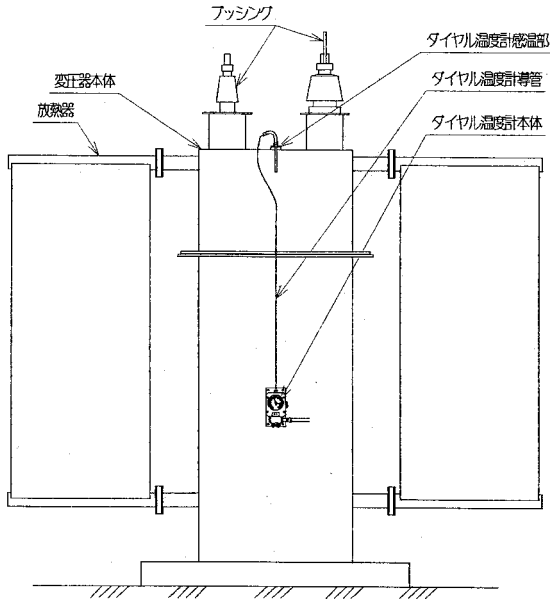


図-1 変圧器用ダイヤル温度計 取付け位置

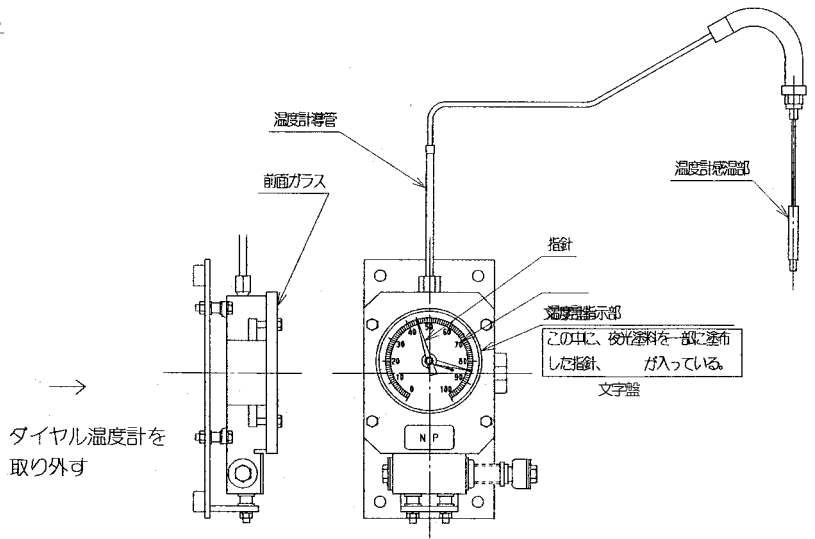


図-2 変圧器から取り外した状態のダイヤル温度計

2. 変圧器からダイヤル温度計を取り外す手順のご説明

ダイヤル温度計を變圧器から取り外す手順を下記にご説明致しますので、お客様の方で、ダイヤル温度計の取り外しをお願い致します。

尚、ご要求があれば弊社の技術員が外向いて、ダイヤル温度計の取り外し作業、代品温度計（ご用命があった場合）の作業を行うことも出来ます。

【作業上のご注意事項】ダイヤル温度計の前面ガラス（プラスチック）は、破損させないように取り扱って下さい。

作業手順	作業名	作業内容	参照図
1	変圧器を停止する	作業の安全のために変圧器を無電状態とする。但し、空中フッシング等の充電部が露出していない場合は、変圧器を停止する事なく、ダイヤル温度計の取り外しは可能です。	-
2	警報回路を切り離す	作業中に誤警報を発生しないように、ダイヤル温度計警報回路の元電源を切り離す。	-
3	ダイヤル温度計を變圧器から取り外す	【手順3-1 ~ 手順3-3】	-
3-1	警報リード線を取り外す	ダイヤル温度計端子箱に繋がっている警報用リード線を解線する。解線した電線端は、絶縁処理を施す。	図-3
3-2	感温部を取り外す	変圧器タンク上部にある、ダイヤル温度計感温部取付けナットを外し、感温部を變圧器本体から取外す。	図-4
3-3	ダイヤル温度計本体を取り外す	ダイヤル温度計を感温部を含め變圧器から取外す。【上記図-2の状態とする】	図-5
4	ダイヤル温度計取り外し後の變圧器側の処置	【手順4-1 ~ 手順4-3】	-
4-1	代品ダイヤル温度計がない場合	感温部取付けフランジ部に閉止プラグを取り付ける。	図-6
4-2	代品ダイヤル温度計がある場合	代品ダイヤル温度計を取り付ける。【手順4-2-1 ~ 4-2-3】 図-3~図-5の逆手順で作業を行う。	-
4-2-1	ダイヤル温度計本体を取り付ける	ダイヤル温度計本体を變圧器に取り付ける。	(図-5)
4-2-2	ダイヤル温度計感温部を取り付ける	ダイヤル温度計感温部を變圧器タンク上部の温度計感温部ポケットに取り付ける。	(図-4)
4-2-3	警報リードを接続する	警報リード線を温度計に接続する。	(図-3)
4-3	警報回路の復旧	ダイヤル温度計の警報回路を復旧する。	-
5	チェックと点検	ダイヤル温度計取替え後のチェックを行い、問題の無いことを確認する。	-
6	變圧器の運転再開	變圧器の運転を再開する。	-
7	取外したダイヤル温度計の処置	ダイヤル温度計を梱包し発送する。【梱包 発送方法をご説明する別資料を参照下さい。】	-

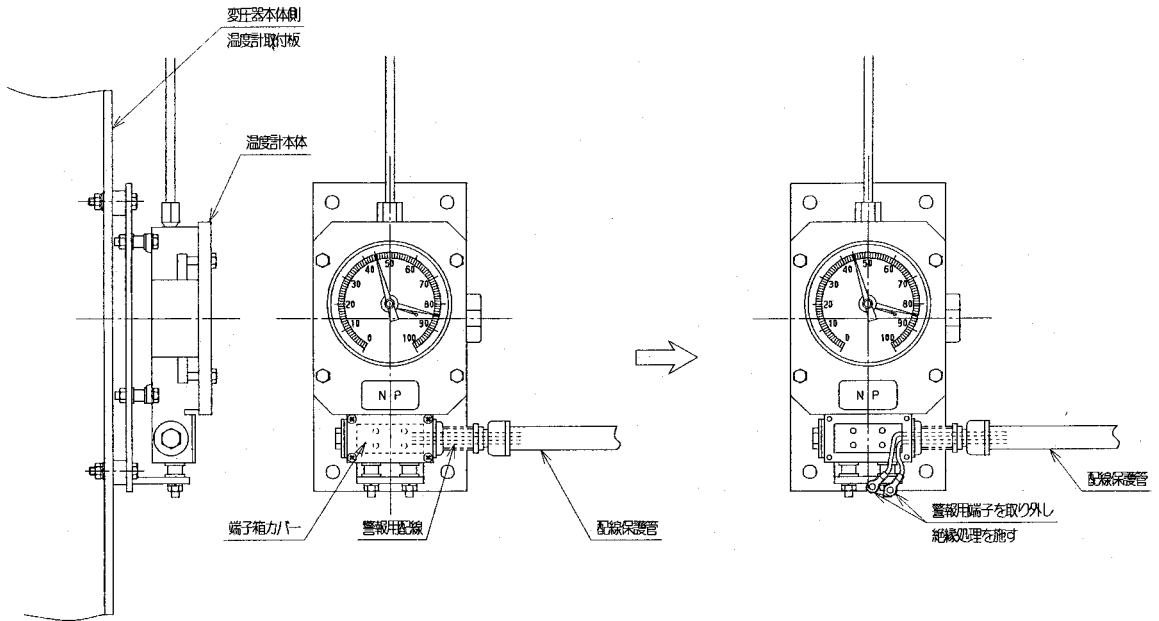
(※) : 代品ダイヤル温度計 [ご用命があれば、弊社で手配致します]

變圧器タンク側のフランジは容易に変更出来ませんので、代品ダイヤル温度計の感温部フランジ形状は、元々取付いているダイヤル温度の感温部と寸法互換性を有するものをご使用下さい。

又、ダイヤル温度計端子箱は取付けに互換性が無い場合、取付けアダプターが必要となる場合があります。

ダイヤル温度計取り外し手順 参照図

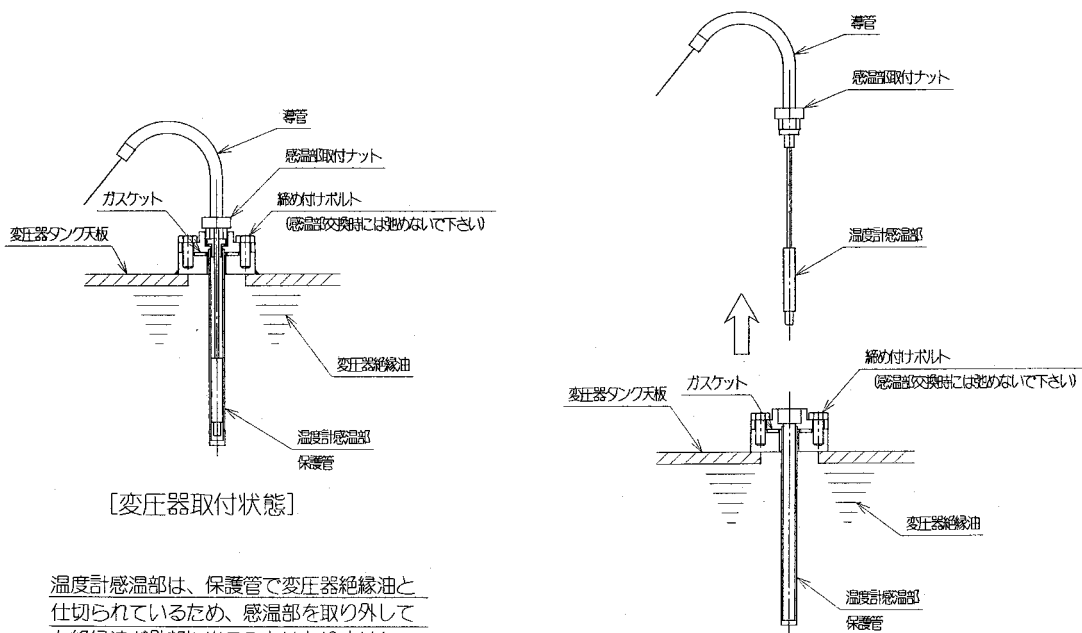
図-3 [警報リードの取り外し]



手順

端子箱カバーを取り外し、警報用端子を端子台より取り外します。取り外した端子に絶縁処理を施します。

図-4 [感温部の取り外し]



[変圧器取付状態]

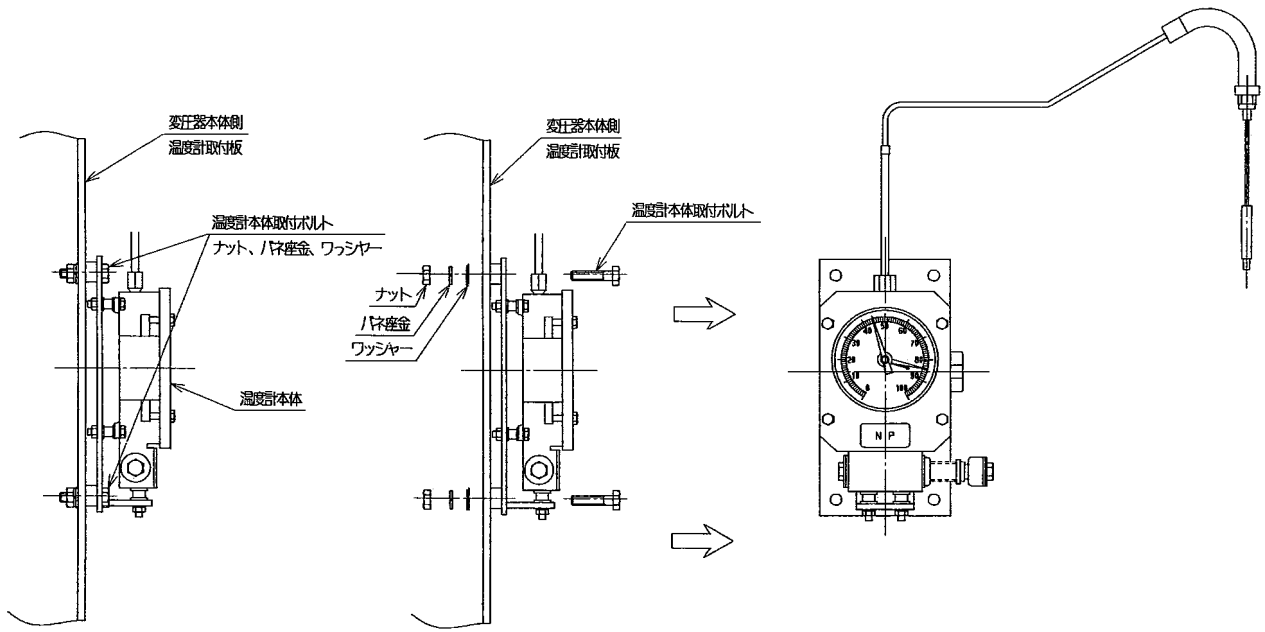
温度計感温部は、保護管で変圧器絶縁油と仕切られているため、感温部を取り外しても絶縁油が外部に出ることはありません。

手順

感温部取付ナットを外します。
導管支持用クリートを取り外します。
感温部をゆっくり引き出します。

ダイヤル温度計取り外し手順 参照図

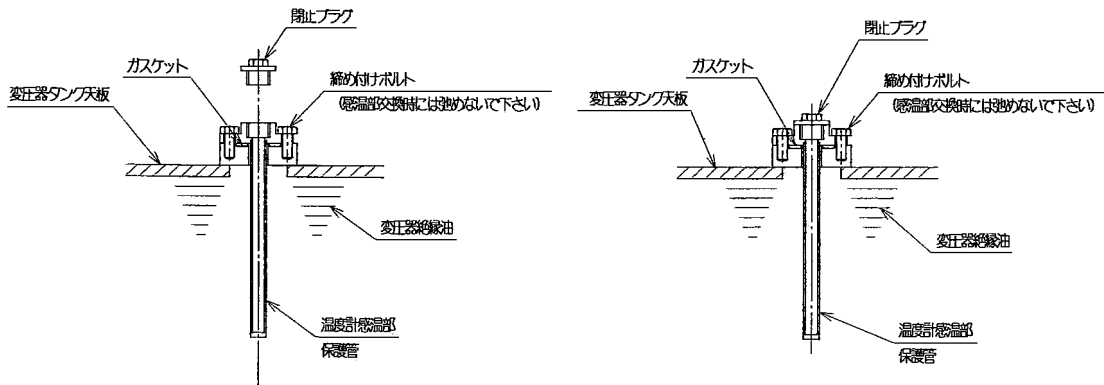
図-5 [温度計の取り外し]



[変圧器から取り外した温度計]

手順
温度計本体取付ボルトを取り外します。

図-6 [代品ダイヤル温度計が無い場合のプラグ取り付け]



[変圧器取付状態]

手順
代品ダイヤル温度計が無い場合は下記により処理して下さい。
閉止プラグにシールテープを使用して締め付け、コーキングしてください。